

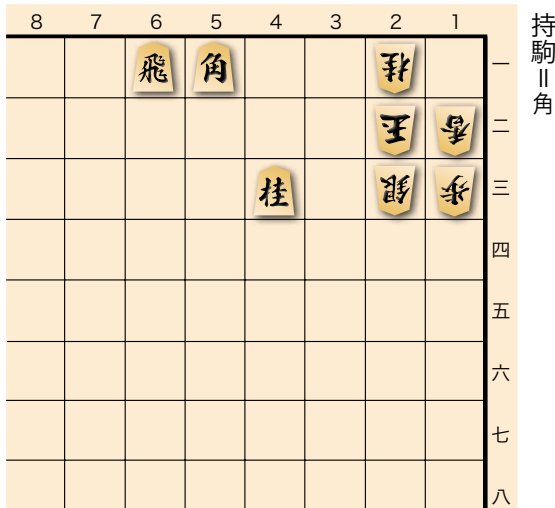
次の一手

答え合わせ

〈第14局〉

詰将棋 問題 7手詰 (10分で2~3級)

ヒント 角の捨て方



〈監修〉中田功七段

詰将棋 答え

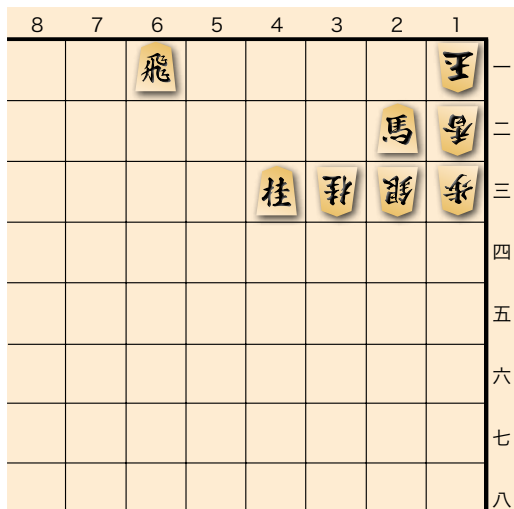
- ▲ 3 一角▽ 1 一玉▲ 3 三角成▽同桂
- ▲ 2 二角成▽同玉▲ 3 一飛成までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

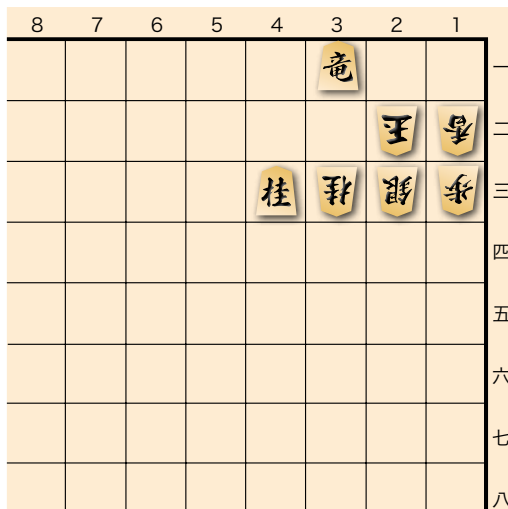
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



途中図 (▲2二角成まで)



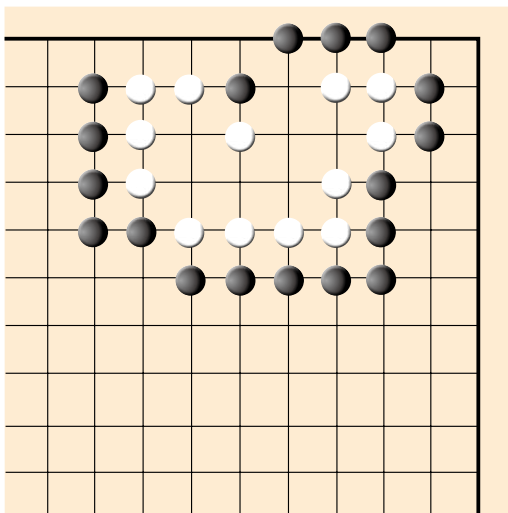
詰め上がり図



(解説) 初手▲ 3 一角は俗手に見えるが、玉を3二へ逃がさぬ手。▽ 1 一玉と落とした上で、角2枚の連続捨てで詰め上がる。

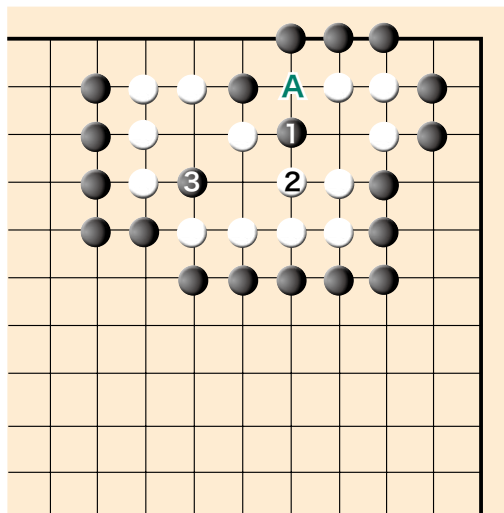
詰碁 問題 黒先白死 (5分で4級)

ヒント 白のダメツマリを利用します



〈監修〉中野泰宏九段

詰碁 答え



黒1とハネるのが好手。白ダメツマリでAに打てず白2と受けるよりないですが、黒3で3目ナカデになります。

中野 泰宏 (なかの・やすひろ)

1977年5月18日生まれ。福岡県豊前市出身。

小学二年生の春、大分県中津市の囲碁教室「爛柯塾」で碁を覚え、中学入学時に上阪。

中学三年生の春、入段。2005年に九段昇段。06年、NHK杯でアタリに突っ込む。趣味は津軽三味線、合気道(初段)。

人生の指針となる言葉「自分を信じる」

